

令和5年度鹿児島学習定着度調査について

1 調査目的

基礎的・基本的な知識・技能や思考力、判断力、表現力等に関する学力の状況を把握するとともに、児童生徒の学習に関する意識などの学習状況を把握する。また、各学校が全県的な傾向との比較・分析などを通じて、自校の課題を明確にし、問題解決的な学習活動を取り入れるなど、教員の指導法改善を図るとともに、児童生徒の学力向上を図る。

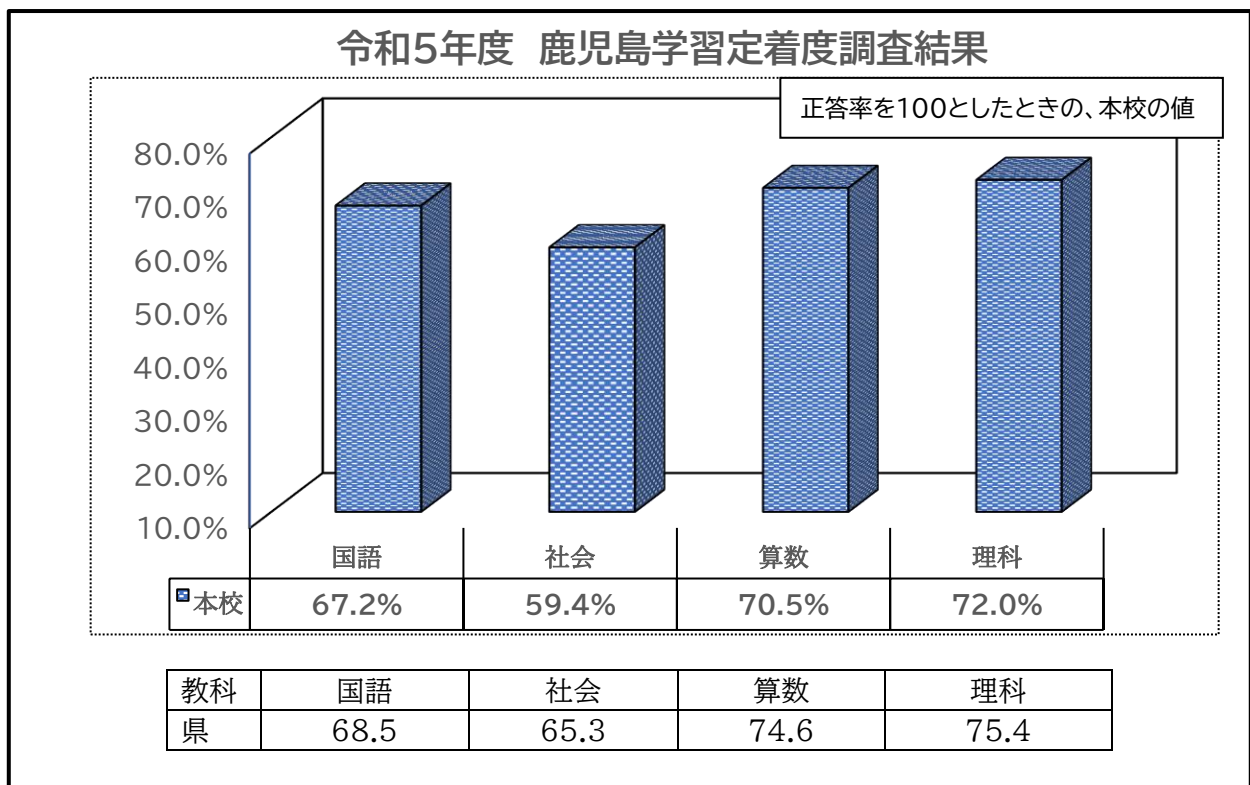
2 調査日時

令和6年1月16日(火)、1月17日(水)

3 調査学年及び調査教科

小学校5年生 国語・社会・算数・理科

4 調査結果



【令和6年2月5日現在速報値(単位:%)】

5 調査より本校の課題と解決策

教科	課題	解決策
国語	<ul style="list-style-type: none"> ① 文の中で修飾と被修飾の関係の理解 ② 慣用句の理解 ③ 資料の読み取り ④ 自分の考えを表現・工夫すること 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 日常の日記指導、作文単元において、文章構成、接続語、修飾語などに着目させ、分かりやすい文章を書くことを意識させます。 ○ 算数、社会の授業においても、資料の読み取りや比較検討を重点的に行います。 ○ 自分の考えを述べる機会を取り入れ、表現等の工夫改善につなげるようにします。
社会	<ul style="list-style-type: none"> ① 資料からの読み取りと説明 ② グラフの比較検討・説明(記述) ③ 自分の考えを記述すること ④ 事例をもとに理由を説明する(記述) 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 文章と事柄を関連付けて読み取らせたり、グラフの特徴に着目させたりする時間を授業の中に設けるようにします。 ○ インタビュー、記事、記録から必要な事柄を抽出して、記述や発表をさせるようにします。
算数	<ul style="list-style-type: none"> ① 数量の関係を捉え、除法の式に表す ② 除法の商が表す意味 ③ 複数の図形を組み合わせた図形の面積の比較 ④ 込み具合 ⑤ 2つの折れ線グラフの比較検討 	<ul style="list-style-type: none"> ○ ICTを活用し、基礎基本の問題を繰り返し、練習させます。 ○ 授業の中で既習問題だけでなく、発展的な問題にも取り組ませます。 ○ グラフの読み取りについては、他の教科とも関連付けて指導を行います。
理科	<ul style="list-style-type: none"> ① 予想、仮設の検証するための実験方法を考える ② 人の体の動きと筋肉 ③ 電気と磁石の関係 ④ 雲の動き ⑤ 器具の使い方 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 体験的な活動を取り入れる。また、ICTを活用し、既習問題、発展的な問題にも取り組ませます。 ○ 課題がある箇所については、教育課程等に位置付け、重点的に指導を行います。

6 学校全体としての取組

(1) 学力向上に向けて

- ① 家庭学習がんばり週間の見直しを図る。具体的には、家庭学習の時間、ノーメディアデーを実施し、家庭学習の習慣化を目指します。
- ② 学習の仕方や家庭学習の在り方について、学校と家庭が連携してつながりをもって行い、学習の習慣化を図るようにしていきます。

(2) 授業力改善に向けて

- ① 単元全体を見通した指導の在り方を推進します。
- ② 児童を中心とした授業研究会の充実を図ります。
- ③ 課題に基づいた授業づくりになるよう研修を工夫します。
- ④ 指導の幅を広げるための研修会等へ積極的に参加します

(3) 基本的な生活習慣の確立に向けて

- ① 家庭と連携し、発達段階に応じた「早寝・早起き・朝ごはん」の習慣化を図ります。
 - 全保護者を対象にした講演会、研修会等を開催し、基本的な生活習慣を身に付けるための情報提供等を積極的に行います。
- ② 開かれた学校づくりの推進を図ります。
 - 学級、学年、学校便りの定期的な発行を行い、児童の様子等を発信していきます
 - 保護者による学校評価を基に、学級や学年経営、学校経営の振り返りにつなげます。